

# 9月「19の日」行動

自民公明の安倍・菅政権の継続は許さない  
野党共闘で憲法、命と暮らしを守る新政権を！

コロナ感染は、第五波となる感染爆発となり、医療崩壊の危機的状況が続いています。五輪開催にしがみつき、ワクチンのみで公的医療や公衆衛生をつぶしてきた自公政権の「人災」で、菅首相が辞任を表明しました。菅首相が「中等症以下は入院させない」と「自宅療養」を押し付け、医療の責任を放棄したことに轟々の批判です。弱肉強食と自己責任の新自由主義路線が暮らしを直撃しています。自民党総裁選挙



で「顔」をかえてもその本質は変わりません。政権交代あるのみです！

9月8日、市民連合と立憲野党の共通政策が合意されました。

この間のコロナ禍を経て、新しい政治を求める多くの世論の中から作られた共通政策では、「憲法にもとづく政治の回復」が掲げられました。

いまこそ、本格的に進み出した野党共闘で政権を交代と、力を合わせましょう。「憲法を変えるのではなく、政治をかえよう」「コロナ対策に全力を尽くす国民の命第一の政府を！」の声をあげましょう。

草の根から「自公政権は退陣」の声を広げましょう。

**日曜日なので、時間に注意。緊急事態宣言下で、デモは中止です！ 感染に注意して参加しましょう！**

とき **9月19日（日）**

午後 **4時30分～** 街頭スピーチ

スタンドアピールのみ プラカードなどでアピールを！

ところ **京都市役所前（御池通側歩道）**

呼びかけ **安保法制廃止をめざす市民アクション@京都**